

竜北中学校 学校だより

鍛練の汗

第2号
R8.5.22
文責 窪田 智久

第78回体育大会 「竜中魂」

令和8年度、第78回竜北中学校体育大会を5月16日(土)に実施しました。

青空が広がり、グラウンドも整備され決戦の舞台は整いました。生徒のモチベーションも最高に上り、竜中生のエネルギーが弾けた1日となりました。これまで限られた時間で、リーダーを中心に団や学級の結束力を高めてきました。この短期間での団結力は素晴らしく、この取組を通して生徒の成長をしっかりと感じ取ることができました。



体育大会スローガン『**竜中魂** 未来に向けて 今挑戦する竜中生』のもと、開会式では、きりつと引き締まった表情がありました。まず、走る種目では、新種目の男子の1000m、女子の600mから始まりました。選手は、苦しくなる後半も力の限り走り抜きました。そのあとの200m・100mも竜中のグラウンドを一気に駆け抜けました。全員リレーも作戦を練り、団としてクラス

のため力を合わせ全力を尽くしました。対抗リレーは、各団の精銳が集結し、力強い走りを見せてくれました。団体競技では、まず縄跳びで、3年1組が圧巻の50回を記録し、会場が盛り上がりました。他のクラスも心を一つに集中して挑み、クラスの一体感がありました。1・2年生の部と3年生の部で1対1となり全校生徒による決定戦も白熱しました。さらに3年生と保護者の戦いでは、大人の圧勝、まだ子どもに負けるわけには、一貫緑勝ちです。ご協力いただきました。そして、1・2年生のソーラン節も見事でした。最初の練習から劇的な変化を感じました。

体育主任の吉田先生から歌詞には意味があること、ひとつひとつの動作に思いがあること等の話を聞き、2年生が先輩として1年生に教えていました。1年生もしつかり受け止めた練習に励みました。その甲斐あって、力強いソーラン節に会場は引つ張り込まれました。最後の各団の創作ダンスもこの短期間で踊りの構成、隊形移動等々よくぞここまで仕上げたと感心しました。何より、楽しそうに踊り表現している姿に驚かされた方も少なくありません。両団とも全力を出し切り竜中魂を存分に発揮できました。勝敗はつきませんが、解団式での子どもたちの表情には、達成感や充実感があり勝負を超えた、大切なことを感じた体育大会となりました。

保護者の皆様や地域の皆様には、ご観覧いただき、たいくさん温かいご声援をありがとうございました。

赤団団長 二宮悠慎さん
練習の最初の頃は、声も小さく心配しましたが、本番ではみんなが大きな声を出し、思いを一つにして、一生懸命に楽しくやり切ることにできました。優勝と聞いた時はとてもうれしかったです。一緒にがんばって来た赤団のみんなに感謝していただきます。ありがとうございます。

青団団長 藤田一流さん
憧れていた団長に立候補しましたが、みんなに指示を出したり話をしたりするのは大変でした。池崎先生の闘魂注入と青団の仲間の励ましで、やり遂げることができました。負けはしましたが、青団のみんなと一緒にがんばれてとてもいい思い出になりました。

授業参観・学年懇談会
PTA総会・お世話になりました

4月24日(金)に実施しました、授業参観・学年懇談会・PTA総会、部活動振興会総会にご出席いただき誠にありがとうございました。おかげさまで本年度も順調にスタートすることができました。役員の皆様には、事前の準備から当日の運営等、大変お世話になりました。また、その日はPTA歓迎迎会まで催していただいたことにもお礼申し上げます。



学校教育目標
「夢」の実現へ向け、主体的に学び続ける竜中生
地域とともにある学校



先生方と話す中で、「体育大会をいいものにしたかったの思いから言い合いになったり、空気が重くなったりすることがありました。でも、そういうことが子どもの成長に重要だと思えます。」
熱い思いで関わっている様子にうれしくなりました。